

令和元年度「市長と語り合う会」について

1 出席者状況

開催日（曜日）	会場	時間	出席人数		
			男	女	計
令和元年 5月20日（月）	匹見下公民館	19:00～20:00	13	6	19

○市側出席者

市長、副市長、政策企画局長、総務部長、秘書課長

2 会の概要

○開会（秘書課長）

- ・会の趣旨説明
- ・出席者紹介

○あいさつと市政運営の説明（山本市長）

4月下旬に風しんを発症し、ご心配をおかけした。県内・市内にも罹患者があるとされる。感染力が高く、成人後に罹ると重症化するうえ、妊娠初期の感染は胎児に重い障害が残る恐れもある。適切な受診・予防接種をお願いしたい。麻しん（はしか）にもご注意ください。

本年度の施政方針における基本方針は「連携の充実と発信」である。平成29年度から掲げる「連携」をさらに充実させ、効果的に発信する。多くの方に幅広く連携について知っていただく必要がある。

・SDGs（持続可能な開発目標）に着目

2015年国連サミットで採択されたもので、2030年までに全人類が達成すべき目標とされる。17のゴール・169のターゲットの中には市政と直接関係しないものもあるが、様々な相手との連携のための共通の基盤として、国際的な視野を持つことが重要。

・萩・石見空港の利活用

現在1日2往復の東京線だが、うち1便は国の発着枠政策コンテストにより得たものであり、何度かの期間更新を経て、今年度末でいったん終了する。その後は未定であり、継続のための実績をしっかりと作らなくてはならない。国の有識者会議では地方路線を重視し枠を増やすことが議論されたとのことで、追い風が吹いている。県や近隣市町とともに国交省・ANAに働きかけていくので、引き続き市民の皆様のご協力をお願いしたい。

・ひとづくりと人材確保

外部への発信を含め力を入れており、「人口拡大計画」「益田市総合戦略」において人材の確保・育成に注力することを打ち出した。「ひとづくり協働構想」により色々な観点から人材育成に取り組んでいる。未来を担うひとづくり・仕事を担うひとづくり・地域を担うひとづくりを三本柱とし、各々連携しながら、学校・企業・団体・個人の参加で一緒になって進めている。益田管内は有効求人倍率が高く、仕事に対し応募者が少ない状況である。若い世代に地域との接点を増やし、愛着を高めてもらうため、各学校で益田市版「カタリ場」を実施し、学生・企業双方から好評を得ている。他市の注目も増しており、「ひとが育つまち益田」として発信していきたい。

・匹見下地区の課題等について

- ① 持三郎集落の市道澄川線について、昨年6月から落石のため通行止めになっている。今年度予算で詳細な調査・設計を実施するため調整中である。まだいつ着手できるか明らかではない。ご不便をおかけするが、できるだけ早く解除できるよう努力したい。仮設道路の提案もいただいているが、まだ十分安全が確保できていない。
- ② 落合の市道戸村線の落石についてはさらに大規模で、まだ法面に不安定な状況があり、除去作業にも着手できない。調査・設計を今後進め、何とか令和2年度中に復旧したい。

- 意見交換
質問項目は以下のとおり。詳細は別紙のとおり。

- ① 支所マイクロバスの利用について
- ② 匹見峡温泉の再開について
- ③ 三出原のヘリポートについて
- ④ サイクリングツアーについて
- ⑤ 高齢者の住みよいまちの発信について
- ⑥ 人口を増やす施策について
- ⑦ 福祉関係の労働力について
- ⑧ 職員の善行について
- ⑨ 市長コラムについて

- 閉 会 （秘書課長）

令和元年度「市長と語り合う会」

〔会場 匹見下公民館〕 開催日時：令和元年5月20日（月）19:00～20:00

要 望 事 項 等	回 答
① 支所マイクロバスの利用について 申請しても利用できないことが多い。	① 悩ましいところである。基本的に市の財産なので公共の用途でないとは利用できない。旧町時代の経緯もあるが、少しずつ他地域と平準化していかななくてはならない。ご理解願いたい。
② 匹見峡温泉の再開について 再開に向け指定管理者を募集すると聞いているが、どういう状況か具体的に聞きたい。また従前の経営が行き詰ったことに対する検証はどうなっているか。原因は施設老朽化によるのか、指定管理者の内部的なものか。	② 1月末に閉鎖しご不便をおかけしている。賑わいに陰りがあり憂慮している。地域の拠点施設であり、できるだけ早い再開に向け準備中である。老朽化しているので改修予算を組んでいる。また指定管理者募集のための補正予算の議決を得るべく準備している。行き詰った原因は種々考えられるが、これまでの指定管理者の判断として致し方ないと受け止めるしかないと考える。
③ 三出原のヘリポートについて ヘリポート法面に雑草が生い茂っていて手入れも大変だが、芝桜を植えてはどうか。	③ どの様に対処するのが良いか調べて対応したい。
④ サイクリングツアーについて 3月末にインフルエンサー（SNS等の情報発信で有名な人）の方々が来られ、自治組織で対応したが、公民館でも事前に聞いてないという状況で、この時期にアユの塩焼きが食べたいなど冷や汗をかいた。	④ その際はお世話になり感謝している。また急なお願いになったようで申し訳ない。日本自転車協会に委託した事業だが、当然市が責任をもって進める事業であり、今後は公民館・自治組織と十分な連絡を行い、気持ちよくご協力いただけるように改めていきたい。
⑤ 高齢者の住みよいまちの発信について 神戸出身であるが、市歌の「明日を迎えるまち」という一節が好きで、長寿者には住み心地が良いところだと感じる。そうしたことを強く発信していくべきだと思う。	⑤ おいでいただき感謝する。ぜひ益田の暮らしを楽しんでいただき、そのことを発信していただければと思う。
⑥ 人口を増やす施策について 世田谷からIターンした。あちらは便のいいところだが人間関係が希薄で、益田に来てよかったと思っている。老人のための施設や、若い人の集まるイベントなどを充実させて人を呼ぶようにするとよいと思う。	⑥ よくおいでいただいた。人を呼ぶ施策には知恵を絞って取り組んでおり、少しずつ実を結びつつあると思うので、ご提案を参考に、他の地方や国からも来てみたいと思われるまちにしていきたいと思う。
⑦ 福祉関係の労働力について 福祉施設・サービスの人手不足が限界に来ている。市中心部に偏り、匹見で働く人が少ない。僻地で働く人を優遇する施策を、市独自でもいからできないものか。	⑦ おっしゃる通りと思う。市中心部の介護施設等も働き手の確保に苦慮されており、匹見の状況もよくわかる。基本的に介護保険給付の範囲で収入を確保するものなので、市独自の給付となると財政事情もあり困難。しかし安心して暮らせる基盤は匹見にもないといけなないので、今後も知恵を絞っていく。
⑧ 職員の善行について 国道488号線の待避所にすごい量のゴミが投棄	⑧ 存じていなかった。お知らせいただき感謝する。職員の行いが地元の方から感謝されると

されていたが、最近きれいになった。市の臨時職員が公民館に持ち帰り、分別・処分したと聞いた。頭が下がる思いであり、お知らせしたいと思って話した。

- ⑨ 市長コラムについて
広報のコラムのページを毎号楽しみに読んでいる。これからもお願いしたい。

いうのは私にとっても嬉しいことである。その職員をねぎらいたいと思うし、市役所内でもそうしたことを伝えていきたい。

- ⑨ ありがとうございます。